<u>[!</u>

■ マテリアリティ │ 3つのカテゴリーと11の重要課題

マテリアリティ特定プロセス

2020年に、日油グループは「NOF VISION 2025」(2019年策定の中期経営計画)のありたい姿を実現するために、優先的に取り組むべきESGの重要課題を次のプロセスで選定しました。

STEP

1 社会課題の把握

7 優先度の設定

3 承認

従来のプロセスで検討したテーマに、新たな 社会課題・注目度の高い課題を加え、候補テー マをリストアップしました。各種ガイドラインを 参考に、マテリアリティ要素として分類・集約し ました。

参考資料

- ISO26000
- GRIスタンダード
- SASB CHEMICALS
- SDGs
- 同業他社のマテリアリティ
- 社内ワークショップ

マテリアリティ要素について、「社会への影響度」と「自社への影響度」 の2軸で、取り組むべき優先度を評価しました。これには以下の項目を 考慮しました。

- ESG評価機関による日油の評価結果
- ② 株主さまからいただいたESGに関するご意見
- ❸ 日油グループが過去に推進してきた課題の視点

CSR活動の推進を担う各部門の意見を取りまとめた上で、役付執行 役員で構成する政策会議、ならびに社長を委員長とするCSR委員会に 社外取締役も参加して協議を行い、マテリアリティを選定しました。ま た、マテリアリティの主管部門・担当部門は、KPI・目標値を立案しました。 マテリアリティを取締役会で承認しました。 また、各項目のKPI・目標値は、取締役会の 意見を踏まえて適宜修正しました。これに基 づき、各部門はそれぞれの活動を実行してい ます。

STEP **4** レビュー マテリアリティの各項目は、CSR委員会において年1回以上、主管部門からKPIの実績を報告し、進捗状況を確認しています。また、ISSB、SSBJなどの外部要求事項に対応して、適時見直しを行う位置付けとしています。直近では、2022年に新中期経営計画「NOF VISION 2030」を策定した際、マテリアリティの見直しを実施しました。

戦略

■ マテリアリティ | 3つのカテゴリーと11の重要課題

マテリアリティ・マトリックス

24項目のマテリアリティ要素を「社会への影響度」と 「自社への影響度」の2軸でマッピングし、マテリアリ ティ・マトリックスにしました。右上の領域に示される11 項目をマテリアリティとして特定しました。

2024年度 レビュー

社長を委員長とするCSR委員会に社外取締役を含む 全取締役および役付執行役員が参加して、各マテリアリ ティの2024年度の実績値をもとに、マテリアリティのレ ビューと2025年度の目標を設定しました。

■ マテリアリティ・マトリックス



GRI 3-1,3

028

マテリアリティ | 3つのカテゴリーと11の重要課題

重要課題の具体的な展開

日油グループでは特定した11項目のマテリアリティを、3つのカテゴリーに分類して具体的な事業活動に紐づけて活動を展開しています。マテリアリティの各項目には主管部門・担当 部門を定めて、それぞれの課題に指標と目標 (KPI) を設け、取り組んでいます。

「NOF VISION 2030」の実現を目指し、日油グループそして社会全体の持続可能性を高めていきます。



豊かで持続可能な社会実現の ための新たな価値の提供

目指す3分野に向けて、多岐にわたる事業展開の中で 培ったコア技術の組み合わせにより、新しい価値の提 供を目指します。



















事業基盤の強化

価値観の多様性を受け入れる企業風土を築き上げると ともに、環境の変化、技術の進歩を適切に捉え、レジリ エンスを高めていきます。

















レスポンシブル・ケア活動

製品の開発、製造から廃棄まですべての過程において、 「環境・安全・健康」を確保することで、社会全体から信 頼される企業グループを目指します。



















■ 統合報告書 P.019.080-103

















P.018.070-079

NOF CORPORATION 25
Sustainability Report 20

戦略

□ マテリアリティ | KPI

豊かで持続可能な社会実現のための新たな価値の提供

フニリフリニ	マテリアリティ 目標(KPI) 2024年度				2025年度				
(1	日标(NPI)	目標値	目標年	実績	主な取り組みの内容	目標値	目標年 主な取り組みの内容	主な取り組みの内容
事業を通じた	9 ::	研究開発投資額 日油グループ	256億円 (3年間累計)	2025年	79億円 2年間累計 152億円(達成率59%)	研究開発力の強化 産学委託研究公募共同研究の推進	256億円 (3年間累計)	2025年	
イノベーション	и————————————————————————————————————	特許出願件数 「日油	500件 (3年間累計)	2025年	221件 2年間累計 382件(達成率76%)	研究開発支援強化知財戦略策定と戦略出願	500件 (3年間累計)	2025年	
ライフ・ ヘルスケア 分野への貢献	3 in 12 mil	ライフ・ヘルスケア分野 への 戦略製品*の売上高	15%UP (対2022年度 実績)	2025年	11.7 %UP	戦略製品のライフ・ ヘルスケア分野へ の供給	15%UP (対2022年度 実績)	2025年	
環境・エネルギー 分野への貢献	17	環境・エネルギー分野 への 戦略製品※の売上高 _{日油グループ}	15%UP (対2022年度 実績)	2025年	43.7 %UP	戦略製品の環境・ エネルギー分野へ の供給	15%UP (対2022年度 実績)	2025年	
電子・情報分野 への貢献 (スマート社会)	9===	電子・情報分野への 戦略製品*の売上高 日油グループ	15%UP (対2022年度 実績)	2025年	15.6 %UP	戦略製品の電子・ 情報分野への供給	15%UP (対2022年度 実績)	2025年	戦略製品の電子・情報分野への供給

[※] ありたい姿に掲げる目指す3分野(ライフ・ヘルスケア、環境・エネルギー、電子・情報)に関する製品の中で、顧客満足を追求し、新しい機能・技術を盛り込んだ他社より優れた製品、あるいは、将来の事業部門の中核を担う商品とし て育て上げたい製品

事業基盤の強化

	マテリアリティ					2024年度	2024年度		2025年度		
			目標(KPI)	目標値	目標年	実績	主な取り組みの内容	目標値	目標年	主な取り組みの内容	
職	働きやすい 職場づくり	5	年次有給休暇取得率	75%以上	2025年	79.1%	健康経営宣言周知による意 識付け	75%以上 日油 国内連結5社	2025年	●健康経営宣言周知による意識 付け	
	・エンゲージメント	10 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	総合エンゲージメントスコア 日油	50.0以上	2025年	50.0	エンゲージメント調査を起点 とした施策の実行	50.0以上	2025年	■ エンゲージメント調査を起点と した施策の実行	
			人材育成投資(研修費用)	2.5倍以上 (2022年度比)	2025年	2.2倍	● 人材育成支援の強化	2.5倍以上 (2022年度比)	2025年	● 人材育成支援の強化	
			新卒総合職女性の 採用比率 _{日油}	30%以上	毎年	38.0%	計画的採用の実行	30%以上	毎年	● 計画的採用の実行	
	人材の活躍	8 2007 10 2007 10 2007 11 2007	女性管理職比率 日油	3倍以上 (2021年度比)	2030年	1.3倍	計画的採用の実行女性管理職育成、登用	3倍以上 (2021年度比)	2030年	計画的採用の実行女性管理職育成、登用	
	・人材育成 ・ダイバーシティ		障がい者雇用率日油	3.0%以上	2030年	2.65 % (2025年3月末)	● 障がい者雇用の推進	3.0%以上	2030年	●障がい者雇用の推進	
			正社員男女賃金 差異比率	75%以上	2030年	72.6%	● 生産箇所などの就労環境整備● 女性管理職育成、登用	75%以上日油	2030年	● 生産箇所などの就労環境整備● 女性管理職育成、登用	
			男性育児休業取得率 日油	100%	2030年	95.7%	●取得しやすい環境整備	100%	2030年	● 取得しやすい環境整備	
			経営職・総合職経験者 採用比率 日油	25%以上	毎年	47.4%	● 計画的採用の実行	-	-	-	
	CSR調達の推進	15 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	CSRアンケート調査の カバー率(購入金額ベース)	85%以上	2025年	92 % (2025中計期間の累計)	サプライヤーへのCSRアンケート調査実施(購入金額が100万円以上500万円/月未満のサプライヤー)	85%以上	2025年	● サプライヤーへのCSRアン ケート調査は2023、2024 年度で完了	
	この代明足の元匹		CSR調達の定着化に向けた 対象サプライヤーへの面談による 改善依頼(会社数ベース) 日油	85%以上	2025年	96% (2025中計期間の累計)	対象サプライヤーへの面談 による改善依頼の(前倒し) 実施	85%以上	2025年	● 対象サプライヤーへの面談に よる改善依頼の実施	
	レジリエンスの向上	11 12 12 11 CO	BCP教育訓練時間 日油グループ	のべ 4,000 時間 以上	毎年	のべ 7,000 時間	● 各種BCPマニュアルの充実化● 訓練シナリオ拡充による対応力向上● 監査による箇所活動の点検・確認	のべ 4, 000時間 以上	毎年	● 各種BCPマニュアルの充実化● 訓練シナリオ拡充による対応力向上● 監査による箇所活動の点検・確認	



		マテリアリティ		2024年度				2025年度		
	マテリアリテ1			目標値	目標年	実績	主な取り組みの内容	目標値	目標年	主な取り組みの内容
	マルング 子が、ノウンショルロ	7	CO2排出量 国内グループ	40%削減 (2013年度比) 2013年度 178.6千トン/年	2030年	132.9 チトン/年	低環境負荷エネルギー源への転換推進	40%削減 (2013年度比)	2030年	低環境負荷エネルギー源への 転換推進
		₩ ₩	カーボンニュートラル (日油グループ)	達成を 目指す	2050年	25.3%減 (2013年度比)	省エネ設備の導入推進エネルギー効率的利用と 見える化の推進	達成を 目指す	2050年	省エネ設備の導入推進エネルギー効率的利用と見える化の推進
	ケミカル セーフティ	3 in	2021年度改正 PRTR対象物質排出量 国内グループ	170トン/年 以下	毎年	135トン/年	排出量削減施策の創出と 実行製造プロセスの再評価	170トン/年 以下	毎年	排出量削減施策の創出と 実行製造プロセスの再評価
	労働安全衛生の 推進	3 :	休業災害発生件数	ゼロ	毎年	5件発生	全員参加とリスクの先取りによる ・危険に対する感性の向上 ・基本的安全行動の徹底 ・災害リスクの低減 ・三現主義に基づく対策の強化	ゼロ	毎年	全員参加とリスクの先取りによる